

市  
議  
会  
報

# ☆ 大 野

No. 42

発行 大野市議会

TEL 6-1111

(内線 303)

印刷 松浦印刷

## 涼味あふれる 仏御前の滝

国道 158 号線を市街地から東へ約13<sup>km</sup>。へ行った所に仏原ダムがあります。今は湖底に沈んでいる仏原は、その昔平清盛のちよう愛を受けたと言われている「仏御前」のゆかりの地だと伝えられています。

ダムサイトから少し行くと、仏御前の滝の登り口があり、遊歩道を 500 歩も歩くと落差 100 歩の雄大な滝があります。

滝は 3 段になっており、岩に落ちる水しぶきと、扇のように糸を引く水の様子は涼味をさそいます。

仏御前はこの滝の水で顔を洗ったと伝えられていることから、この水で顔を洗うと美人になると言われています。



落差100メートルの雄大な仏御前の滝

6 月定例会市議会

## 11 議案を可決、承認

— 一般会計 —  
2億6,600万円補正

第 188 回 6 月定例会は 6 月 25 日 招集され、会期を 7 月 3 日までの 9 日間と決め、昭和 55 年度一般会計補正予算など、市長提案の 11 議案を審議しました。その結果、それぞれ原案どおり可決、承認しました。

また請願、陳情を別掲のとおり決め、最終日には議員提案の「昭和 55 年度生産者米価と米穀政策に関する意見書」を可決し、7 月 3 日閉会しました。

### 6 月定例会日程

- 6 月 25 日 本会議 (会期の決定 議案上程、提案理由の説明)
- 6 月 27 日 本会議 (一般質問、各案件委員会付託)
- 6 月 30 日 産業経済委員会 建設委員会
- 7 月 1 日 教育民生委員会 総務委員会
- 7 月 3 日 本会議 (各委員長報告、質疑、討論、採決)

# 一 般 質 問

## 上水道について

問 上水道1期工事は、南部地域の加入率が低いので当初実施した加入助成制度を再び行って加入促進を図り、一般財源の持ち出しを軽減すべきと思うが、どうか。

併せて上水道事業の今後の計画についても伺いたい。

答 南部地区の上水道加入状況は、対象戸数1,134戸、加入戸数695戸加入率は61.3%で、53年6月までの加入者に対し市が2分の1の補助を

行ったが、それ以降は実施していないし、今後も助成するつもりはない。

第2期・第3期計画は、その地域住民の理解と協力を得て、確かな見通しの下に工事を進めていきたい。



南部地域の上水道配水場(祿座)

から、都築紡誘致に際していろいろ要望が出されたと聞くが、それにどう対処するのか。

答 地場産業である繊維業の方々から都築紡誘致に対して7項目の要望が出ている。

その中で労務問題は労務対策協議会で、助成等の問題は商工審議会それぞれ審議してもらっている。織物協同組合が計画している活路開拓事業はまだ具体化していないので、はっきりした段階で事業援助をしていきたい。

## 繊維産業の育成について

問 当市の基幹産業である繊維業界

## 昭和55年度生産者米価と米穀政策に関する意見書

本市の稲作農家は、諸生産資材や労賃の上昇する中で、今日の米の需給事情を厳しく受けとめ、長期的視点に立って食管制度を堅持し、農業と国民生活の安定を図るため、政府計画を上回る生産の調整に取り組み懸命の努力を続けております。

しかしながら、このような稲作農家の努力にもかかわらず、農業の基本的政策は確立されないうまま農畜産物の輸入は拡大され、転作作物の流通、販売環境は整備されず、いま稲作農家は今後の農業に対して大きな不安を抱いております。

さらに伝えられる一昨、昨年に続く米価の据え置きは実質的には米価の引き下げになり、米作農家に極度の動揺を与えております。

よって政府におかれては、物価上昇の中で需給調整に取り組む農

家の努力とその実情を十分に配慮し、米作農家が長期にわたり安心して生産に励める米穀政策の確立と適正な生産者米価が決定されるよう、下記事項について強く要望いたします。

### 記

- 1 昭和55年産米の買入れ価格は諸物価および労賃の現状を正しく反映させ、生産費及び所得補償方式に基づき60㊦当たり1万9,769円とすること。
- 2 米作農家が将来に明るい展望をもって生産に励めるよう食管制度の堅持と米穀政策の確立を図ること。

上記のとおり、地方自治法第99条第2項の規定に基づき意見書を提出する。

昭和55年7月3日

大 野 市 議 会

## 通学区域について

問 住宅の新築等によって当初計画よりも陽明・開成両中学校間で生徒数に格差が生じている。この際通学区域の見直しをすべきと思うが、どうか。

答 小・中学校共に12学級から18学級までが適正規模で、開成・陽明両中学校共適正規模の中に入っている。ただし近い将来に40人学級が実施された場合は教室の不足ということが考えられるので、その時点で慎重な対策が必要だと思う。

現在陽明中は開成中より200人多いが、現在の戸数に変動がないと仮定した場合、その差は57年には180人、10年後の67年には50人に縮少すると見込んでいる。

区画整理について

問 南部土地第2区画整理は54年度着工の計画であったのに、まだ着工の見通しがないと聞くが、どうか。

併せて北部第2区画整理についても伺いたい。

答 南部第2区画整理事業は54年着工計画がいろいろなあい路によって遅れているが、56年から63年の約8ヵ年計画で、今年度はまず地元の同意のとりつけと事業計画の作成を主眼に進めていきたい。

北部第2区画整理事業は組合施行で、本年11月をメドに組合設立認可を得て、本年度中に仮換地を発表し明56年度から工事に着手したい。

医療行政について

問 地域医療対策として「健康管理センター建設基金条例」を制定し、具体化を見ようとする運びであるがその後の進展状況について伺いたい。

答 休日急患センターの建設については地域医療協議会を通じて医師会と話し合いを進めており、すでに医師会総会において了解を得ている。

内容についてなお話し合いをしている段階である。建設位置は南校跡地か有終東小学校付近のどちらかに



転作に適している大野の特産、里芋

— 7月臨時市議会 —

下庄公民館新築工事  
請負契約等3件可決

第189回臨時市議会は7月21日招集され、会期を1日と決めたのち、市長提案の請負契約議案3件を可決しました。議案内容は次のとおりです。

▼下庄公民館、勤労青少年ホーム新築工事請負契約

1億5,850万円で鉄筋コンクリート2階建て。下庄公民館434.7平方メートル。勤労青少年ホーム728.8平方メートル。56年3月31日完成予定。

▼有終南小学校屋内体育館改築工事請負契約

1億6,900万円で鉄筋コンクリート平屋建て、延べ面積1,264平方メートル。56年3月31日完成予定。

▼阪谷小学校校舎改築工事請負契約

2億2,000万円で鉄筋コンクリート2階建て(一部平屋)、延べ1,897平方メートル。56年3月31日完成予定。

決定したい。

問 56年度に着工できるかどうか見通しについて伺いたい。

答 国の補助対象外のものについては、56年度と言わずに本年度中に着工したい。

都市計画街路について

問 都市計画街路、駅前・清滝線の着工見通しについて伺いたい。

答 駅前・清滝線は56年度から60年度をメドに着工したい。現在は土地

先行取得のため所有者にその意図を申し述べているところである。

集団転作について

してから3年目になるが、現在なお転作目標は年ごとに増え、当市においても、今年度の目標面積は463ヘクタールと耕作面積の約11.3%になっている。

農家はその消化のために経済的また労力、生産物の販売等に非常に苦しい状態にたたされているが、当市への転作割り当ては他の市町村よりも配分が多いのではないかと。

今後の転作面積の見通しはどうかまた、転作を推進していくには、互助制度方式を取り入れた集団転作も勧めるべきと思うが、その方策について伺いたい。

答 今年度の転作目標面積は、農家の方々の協力を得てほぼ100%達成出来る見通しである。

転作配分面積は他市と比べて幾分多くなっているが、当市は乾田でもあり、また農業に対して国・県の投資が多くなっているためである。転作は今後さらに増えることが予想される中で互助制度は非常に重要であり、その推進については、当初予算にも補助金を計上し、各農家へパンフレットなどを利用して通知し、また区長会・農家組合・生産組合にもお願いしてきた。

問 水田利用再編対策事業を実施し

今後なお一層互助制度を進めて行きたい。

# 委員会活動

## — 委員長報告から —

### ● 産業経済委員会

#### ① 新林業構造改善事業について

今回地域が指定され、山村林業構造改善事業が4カ年で実施されるがその内容を見ると林道開設事業など事業量は相当多く、実施段階で非常な困難性もあらうと思われるので、当初計画に沿って効率的な実施を図り、最大の成果を上げるべく、万全を期するよう要請した。

#### ② 中小企業育成について

中小企業経営の合理化・近代化資金が今回補正されているが、今後においても経済情勢の変化に対応し金融機関とよく協議し、出来る限りの予算化を図り中小企業の育成、地場産業の振興に努力するようとの意見が述べられた。

#### ③ 水田利用再編対策について

地域の実態に即した転作の推進とその定着化、価格の安定、流通機構の確立等について論及された。

米の需給関係の不均衡は年々拡大の一途をたどり、さらに著しさの加わる将来を厳しく展望し、その上に立って米の消費拡大運動を積極的に推進することが必要である。市としてもあらゆる施策を講じてその取り組みに万全を期すべきはもちろん、県経済連など関係機関に強力に働きかけて農家経営の安定化を図るよう要請する。

### ● 建設委員会

#### ① 工事の設計、管理・監督・検査のあり方について

市も今日では請負工事件数が増えしかも工事額が多額になり、これを各課で設計、監督を行っているが、完工後余り年数も経過していないにもかかわらず、補修費予算が計上されることは、設計のミス、あるいは監督・検査のズサンか、いずれにせよ

血税を使う以上慎重に設計し、監督・検査には毅然たる態度で臨み土木行政に不信を招かないようにするとともに、業者選定に際しても厳正に対処するよう強く要望した。

#### ② 河川の流量について

市は計画的に融雪溝を改修しているが、全く水が流れていないのでは融雪溝の用をなさないで、長期的展望に立った総合的な水資源活用計画を策定して水源の確保を図り、利水に最大の努力を払うように強く要望した。

### ● 教育民生委員会

#### ① 休日・急患センターについて

市長は一般質問に対する答弁の中でセンターの建設を市単独分は本年度中にも着工したいと表明したが、施設内容・規模・医療機器など予算上の問題、センター運営上の問題等の重要な問題がある。

さらに市民の究極的な願いは総合病院建設であり、しかも健康管理センターを含めた建設である以上相当な敷地を要する。本年度内に着工するにせよ、事前に市民の真の要求を十分見極めた上で、確固たる方針で臨まなければ市民の期待を裏切ることになると思われる。こういった幾

### 人権擁護委員の推薦に同意

6月15日で任期が満了したので再任したいと議会の意見を求められ、7月3日の本会議において推薦に同意した。

大門 俊我氏 (大正3年12月12日生・錦町4番11号)

多の問題は当然地域医療協議会で十分審議されると思うが、当委員会としても当市の最重要課題として真剣に討議を重ねることを全会一致で申し合わせた。なお2次医療体制も一層強化するよう意見が述べられた。

### ● 総務委員会

#### ① 青少年健全育成と非行防止について

本会議で論議されたが当委員会でも論及された。近年増加しつつある青少年の非行、特に暴走族の追放についても関係機関、団体、市民総ぐるみの密接な連携のもとに、一定期間にとどまらず長期的視野に立ってあらゆる施策を講じて若者の意識・行動の実態を正確には握し、的確な対応策を立てて指導することが必要であるとの意見が述べられた。

### 市民から提出された請願・陳情

採択されたもの		
番号	件名	提出者
請願3	市道改良舗装について	中保区長 長谷川 久外7名
請願5	陽明中グラウンド周辺環境整備について	陽明中学校PTA会長 長谷川 貞夫
請願6	集会場及び駐車場について	日吉町1区長 安土 義雄外5区長
陳情2	助成金の交付について	新栄町区長 和歌 芳成
趣旨採択となったもの		
請願4	集落センター建設補助について	塚原区長 松田 謙樹外6区長
継続審査となったもの		
陳情1	自転車置場の設置について	大野地区労働組合協議会 会長 斉藤 龍児